

非線形有限要素解析法の利用に関する研究委員会 WG1 議事録

1. 日時：2007年01月13日（火） 14：00～15：30
2. 場所：JCI 第2会議室
3. 出席者（敬称略）：佐藤、長谷川、宮川、福浦（議事作成）
4. 配布資料：
 - ・ ガイドライン 5.1 節, 5.2 節, 8 章草稿（長谷川）WG1-1
 - ・ ガイドライン 4 章, 7.1 節, 7.2 節, 7.3 節草稿（宮川）WG1-2
 - ・ 解析モデル検証の手順例（佐藤）WG1-3
5. 会議内容
 - 1) WG1-1 の内容について討議
 - ・ 前回全体会議での指摘事項を修正・加筆。（長谷川）
 - ・ 現状では数値を伴う説明はせず、考え方が理解されるような概要を示すこととしている。（長谷川）
 - ・ 例えば、積分点の影響の例示などの補足的な説明を付記して規則的なものがわかりやすくしていくのがよいのでは（佐藤）
 - ・ 数式表示の形式（ベクトル表示・スカラー表示）について、他節との整合性を取る必要がある。（佐藤）
 - ・ 求解法の、名称に関して（例えば、「線形剛性法」）統一が必要では。（佐藤）
 - 2) WG1-2 の内容について討議
 - ・ 前回全体会議での指摘事項を修正・加筆。（宮川）
 - ・ 1次元要素については、単独使用（部材を梁要素とモデル化する場合など）の場合に関しては記述の必要はないが、組合せて使用する（鉄筋のモデル化など）があるのでそのような利用に関して記述するのがよいのでは。バネ要素に関しても、地盤と構造物の境界のモデル化などに使用する場合がある。（宮川）
 - ・ 境界条件について比較的詳細に記述することした。（宮川）
 - ・ 用語については、全体会議、他 WG において、整合性を確認していく必要がある。（佐藤）
 - 3) WG1-3 の内容について討議
 - ・ モデル検証の手順例として、個別の解析対象について示した。（佐藤）
 - ・ 今後、この様な解析検証の手順例を追加していく必要があり、その際には、WG2, 3 との作業分担について調整が必要。（佐藤）
 - 4) 他 WG との関係調整に関して、その他
 - ・ 解析手順・評価等の手順の明確化と理解のしやすさのために、具体的な解析事例が必要と考えられる。また、WG1 の取り組むべき方向に関して、他 WG の意見等を考慮・反映していく必要がある。建築系の解析対象例を設定して、他 WG の協力を要請する。（佐藤）
 - ・ 結果の評価と利用の部分の記述に関しては、過去の土木学会での活動成果を反映して、その内容を絞りこんでいくのがよいのでは。（福浦）
 - ・ フロー図などの活用により、わかりやすく、効果的なものとしていくことが考えられる。（佐藤、長谷川）
 - ・ 次回の 3/7 全体 WG までに、本討議を反映して再度・修正加筆を行う。

以上